



海の夕焼け 25×15×65



溢れる愛 34×33×48.5



浅瀬のメロディ φ22×25

葦の芽生える聖なる地 21×17×27.5



22×14.5×24.8
選遊芸命と木花之佐久夜毘売の
初愛を祝福する鳥たち



天地創造 50×15×50



1980年代よりフランスでガラス工芸作品の制作を開始。1991年にはヴェネツィアングラスを用いた作品を発表。

芸術家は魔術師であり、限りなく多様な色彩を自由に組み合わせることが出来る。自然は、日々折々異なった色を帯びながら、刻一刻変化する色彩の調和、その語りかける言葉や表現など、作品の成功のために欠かすことのできない要素のように思える。その時の気分や感情によって、最も落ち着いた柔らかな色を選ぶか、あるいは最も生き生きとした鮮やかな色彩を使うか、いずれにするかには、本当に胸を躍らせるものがある。(中略)

絵を観る人々がイメージを通して自身の夢を感じる事が出来るように、穏やかで冷静な雰囲気を保つよう心がけている。それによって、無意識の深淵から思い出が噴出し、過去の感動が観る人自身のイメージとなるだろう。(画集「自然と愛」より抜粋)

マークエステル



PROFILE
マークエステル・スキャルシャフィキ

1943 パリ生まれ。その後、南仏コートダジュールのエズで両親が経営する「バナノレイホテル」に移り住む。



1950 フランスのホテル協会会長である父が経営する「カップエステルホテル」に移住し、7歳から50年過ごす。ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。近くに住んでいたシャガールは「君は絵描きに向いている。是非画家になつたらいい。」と勧めた。



1960 パリ大学で経済学部で経済学学士号を取得後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ。

1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。
1970 大阪万博に訪れた際、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。岡本太郎氏との交流が始まる。



1981 来日を希望されていたグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。チャーリー・チャップリン、カラヤン、ビートルズ、ケネディ家、ポンピドゥー家、デビッド・ロックフェラー等と交流を深める。

1987 アフリカ及び、アジアの子供達の支援を始める。現在、トーゴ、ブルキナファソ等で4つの学校を運営。



1989 盛田会長の好意により銀座ソニービル全館を使用し個展を開催。東京渋谷の東急文化村のオープニング企画として個展を開催。

1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。



2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七ヶ国語で出版。翌年、神道文化会より文化奨励賞を受賞。

2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。
2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出展。



2010 上海万博にアートディレクターとして参画。
2011 三浦美術館(松山)にて個展。作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～むすび～」を開催。(サンポートホール高松)

2012 作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～えひめ～」を開催(ひめぎんホール)
2013 出雲大社「平成の大遷宮」奉祝奉納公演「絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供。(出雲大社東神苑)

2014 文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受賞。
2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展。2010年より銀座アートホールにて毎年個展。



パリ、ニューヨーク、ロンドン、ヨハネスブルク、シンガポール、北京、上海等、国内外にて個展多数。サロン・ドートンヌアジア代表。

会場/ 高松シンボルタワー ホール棟1階 展示場
香川県高松市サンポート 2-1
TEL. 087-822-1707 (シンボルタワー開発株式会社)

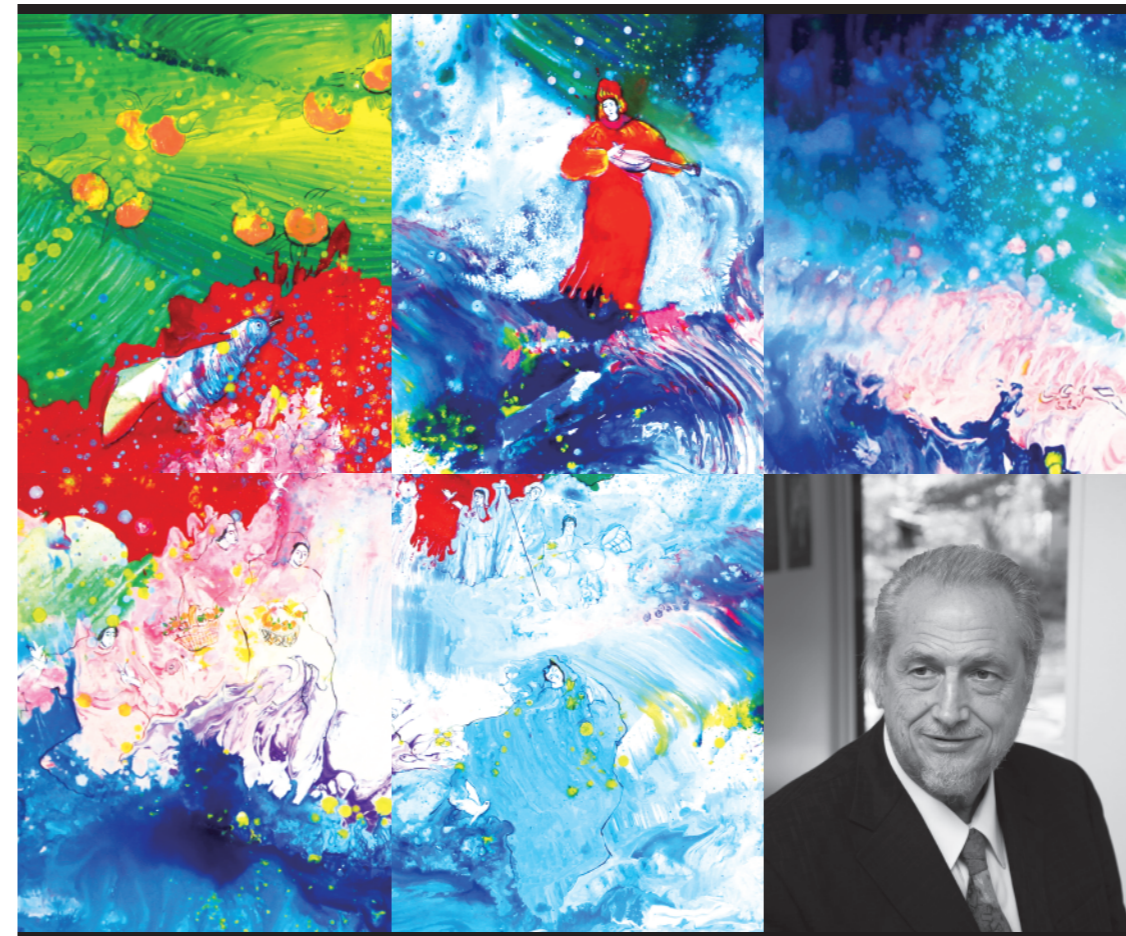
電 車/ JR 高松駅 徒歩3分、こいでん高松築港駅 徒歩5分
駐車場/ シンボルタワー駐車場、多目的広場駐車場、駅前広場駐車場等
近隣駐車場をご利用ください。
<料金> 最初の2時間まで ¥100/20分、2～6時間 ¥100/30分
6～12時間 ¥1,400、24時間まで ¥2,200

主催/ 株式会社H & T E-mail: info@h-a-t.jp
東京都世田谷区代田 6-6-9-2B TEL. 03-6407-4343



表紙絵/ 海を守る女神 油彩 120×240 (部分)

MARCESTEL



10:30 ~19:00 最終日は15:00まで

2016 5/3 [火] ▶ 8 [日]

マークエステル展

高松シンボルタワーホール棟1階 展示場

香川県高松市サンポート2-1

作家来場
マークエステル展 2016 5/3 (火) - 8 (日)
10:30 ~19:00 最終日は15:00まで



太陽が与える愛 油彩 60F

日本人が忘れていた日本神話『古事記』の世界を美しい色彩と神秘的な滲みで今に甦らせるマークエステル。

彼の創造の源は、日本に対する深い愛情、そして、神に対する真摯な崇敬の念でありましょう。氏が絵を描く時、そこには作為も計算もなく、幼子のように天に身を委ね自由に色と戯れるのです。その純粋さが観る者の心を解放し、惹きつけて止みません。

今年73歳を迎えたマークエステルですが、制作への情熱は衰えることなく、神社への作品奉納は、現在、全国159社を数えます。

今企画では、油彩、ガラス工芸品、ブロンズ、版画等の新旧代表作約150点を一堂に展示いたします。是非、この機会に、ご高覧ください。

株式会社H & T 代表 濱崎 佐知子



月読命の愛の調べ 油彩 30P



伊勢神宮奉納作品と同型
天照大御神 ブロンズ



私たちの心を照らす太陽 油彩 10F

青色の夢 油彩 15F



海を守る女神 油彩 120×240



金刀比羅宮奉納作品
大物主神の助けを受け国造りを進める
須佐之男命 手彩入ジクレー版画
56×37



田村神社奉納作品
龍神と倭迹迹日百襲姫命の愛 手彩入ジクレー版画
38×46.8



白鳥神社奉納作品
愛を広げて飛び立つ倭建命
手彩入ジクレー版画 48.2×38

愛を広げる花束 手彩入ジクレー版画 60F



静かなベニス 油彩 15F

ベニスの愛の鳥たち 油彩 10F



マークエステルのこと 谷村 新司

20 年程前だった。
マークの澄んだ瞳と出逢ったのはニース近くの美しいホテルの一室。そして、やがて彼が絵を描いている事を知り、そのスピリチュアルな彼の絵の世界に魅せられた。「古事記」を描く彼の心は、まさに日本人より日本人らしく、その表現は宇宙的な程自由な「色と光」に溢れている。見る人の心を引き込んでゆく彼の世界に溺れてみるのも日本人として幸福な事なのかもしれない。世界中の人が彼の絵と出逢う事を願って…。

